

(別紙)

審査基準

下表の基準に従って審査員が、企画提案書等について評価の視点をもとに評価したものを審査点（１００点満点）とする。最終的に各審査員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の提案書が複数ある場合は、審査員全員の多数決により順位を決定する。

なお、審査員の１名以上が内容点の評価項目のうち１項目でも評価点２点未満とした場合（評価項目④及び⑤を除く）、又は審査点が４０点未満の場合は失格とする。

計 100 点

評価項目		評価の視点		配点
取組の実現性	企画提案参加者の経営状況等	①	・会社規模、財務状況、スケジュール、実施体制等を含め提案された内容の実現が可能と判断できるか。 ・類似事業の実績があり、ノウハウを活かすことが期待できるか。	5 点(評価点) ×2=10 点
	業務推進体制	②	・プロジェクトチームの編成、人員、関連・協力会社等の体制は十分か。 ・スタートアップ企業やベンチャーキャピタル等とのネットワークを有するか。	5 点(評価点) ×2=10 点
企画提案内容	全体設計	③	・提案が本委託業務の目的・趣旨を十分に理解した設計となっているか。 ・本県の特長を活かし、スタートアップ企業等への訴求力が高いコンセプトか。	5 点(評価点) ×2=10 点
	事業費	④	・積算金額、内容は妥当か。 ・実績連動部分の金額、金額の配分は適切か。（総事業費に占める実績連動部分の金額の割合が高いほど高評価とする。） ・実績連動方式の内容は適切か。	5 点(評価点) ×1=5 点
		⑤	・総事業費は安価であるか。 5 点×応募者中の最低価格／応募者の提案価格	5 点
	募集、PR、ターゲットアプローチ	⑥	・募集の企画提案は、幅広い事業者へ本事業が周知され、応募者の増加が期待できる内容となっているか。 ・「TRY!YAMANASHI!」をテーマに、本県がテストベッドの聖地化に向けた取り組みを推進していることを周知する企画・広報となっているか。 ・ネットワークを活かし、ターゲットに対して効果的なアプローチとなっているか。 ※「やまなし未来創造インフォメーションサイト」内に特設ページを作ることも可とする。 https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/	5 点(評価点) ×2=10 点
	審査会	⑦	・外部有識者はスタートアップ企業等に知見のある者が提案されているか。 ・審査会の運営方法や審査方法は適切か。	5 点(評価点) ×2=10 点
	実証実験ハンズオン支援	⑧	・ハンズオン支援を行う体制は適当か。 ・個別メンタリングの方法や回数等が事業者の成長に結びつくようなハンズオン支援の内容として適当か。	5 点(評価点) ×2=10 点
	支援体制の強化	⑨	・県内企業等との関係性が構築され、支援コミュニティが強化されるような具体的な内容となっているか。	5 点(評価点) ×2=10 点
	社会実装支援	⑩	・社会実装に向けた支援を行う体制は適正か。 ・支援メニューや手法が本県での本格的な事業展開に結びつくような内容として適当か。	5 点(評価点) ×2=10 点
	成果発表会	⑪	・事業者の県内での事業展開に関連する企業・団体やベンチャーキャピタル等の集客が期待できる内容か。 ・メディアへの PR、公開方法等、効果的な企画・広報か。	5 点(評価点) ×2=10 点